



宮崎進《ナナエツの少女》 1996年、石膏·着彩 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵



宮崎進《習作「ヒロシマ」手》 2005年、コンテ・紙、個人蔵



空崎准《すべてが沁みる大地》 1992年、蜜蠟・油絵具・麻布・合板

立ちのぼる生命 宮崎進展 BREATH OF LIFE: Shin MIYAZAKI

宮崎進は1922年に山口県徳山市(現周南市)に生まれ、20歳で日本美術学校を 繰り上げ卒業し出兵、敗戦後1949年までシベリアに抑留されました。戦後、取材 に基づく写実的な作品を展開し、1967年には《見世物芸人》で安井賞を受賞しま す。1974年には、神奈川県鎌倉市にアトリエを移し、そこで旺盛な創作活動を展開 します。

布のコラージュは1950年代から用いられていましたが、とくに1980年代以降、 それらの作品の規模は大きくなり、抽象的になっていきます。

2004年の第26回サンパウロ・ビエンナーレには、日本代表として《泥土》などの 絵画や、立体作品《頭部》など12点を出品しました。

宮崎の創作の根底には、敗戦と抑留の飢餓的状況の経験から見つめ直された人間 の生命への強い想いがあります。

本展覧会は、1950年代から近年に至る主要な作品、約70点の絵画と約10点の立 体作品に、スケッチ類や取材写真などを加え、以下の5つの章によって宮崎進の人と 芸術の全貌を回顧するものです。

|. 原風景/||. 忘れえぬ人びと/||. 花咲く大地/|V. 立ちのぼる生命/V. 創作の現場



宮崎進《泥土》2004年、ミクストメディア・麻布・合板、当館蔵

関連企画

⊙ 開催記念講演会 「宮崎進の芸術」

4月5日(土) 午後2時-3時30分 講師: 辻 惟雄(美術史家、MIHO MUSEUM館長) 会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂 定員:70名(当日先着順) * 申込不要、無料

⊙ 開催記念館長トーク

5月17日(土) 午後2時-3時30分 講師:水沢 勉(当館館長) 会場:神奈川県立近代美術館 葉山 展示室 * 申込不要、無料(ただし「宮崎進展」観覧券 が必要です)。

⊙ ワークショップ「ドンゴロス鳥をつくろう」 ⊙ 学芸員によるギャラリー・トーク

5月24日(土) 午後1時-5時

ドンゴロス(麻布)と石膏、シュロ縄、木を 使って、心の中に浮かぶイメージの鳥を 作ります。(ドンゴロス:宮崎進の作品に用 いられる、コーヒー豆などを入れる粗い麻 布のこと)

講師:仲田 智(美術家) 会場:神奈川県立近代美術館 葉山 講堂

対象:小学校高学年以上

- 定員:15名(申込先着順)
- * 無料(ただし高校生以上は「宮崎進展」 観覧券が必要です)。
- * 申込方法は当館ホームページをご覧く 葉山しおさい公園 Tel. 046-876-1140 ださい。

4月10日(木)、5月31日(土) 6月22日(日)

- いずれも午後2時-2時30分 * 申込不要、無料(ただし「宮崎進
- 展」観覧券が必要です)。

優待のご案内 ―

「立ちのぼる生命 宮崎進展」有料観覧 券(65歳以上券、高校生券を除く)の半券 のご提示で、本展会期中に限り、下記の 施設に優待料金でご入場いただけます。

神奈川県立近代美術館 鎌倉 Tel. 0467-22-5000

山口蓬春記念館 Tel. 046-875-6094

同時開催 -

鎌倉館 Tel. 0467-22-5000 2014年4月5日(土)-6月8日(日) 「一原有徳 1910-2010 版 — 無限の可能性」展 鎌倉別館 Tel. 0467-22-7718 2014年4月5日(土)-6月22日(日) 「新収蔵作品展 併陳:小泉淳作デッサン展」

[葉山館への交通案内]

電車とバス:JR横須賀線「逗子」駅前(3番のり ば)、または京浜急行「新逗子」駅前(南口2番の りば)から京浜急行バス「逗11、12系統(海岸回 り)」で「三ヶ丘(さんがおか)・神奈川県立近代 美術館前 |で下車(所要約15分)。

車:横浜横須賀道路逗子インターチェンジ、または 横須賀インターチェンジからそれぞれ7~8km。



[葉山館駐車場(有料)のご案内] 営業時間(入庫は営業終了の30分前まで): 午前8時30分-午後6時

料金(1時間)普通車400円、大型車1,200円

- *観覧券をお持ちの方は1時間無料です。
- *レストランやショップで2,000円以上ご利用 いただいた方は、1時間無料となります。

*貸切バス等(定員11名以上) でご来館の場合、駐車場の事 前予約および前面道路の通 行許可申請が必要です。団体 名、連絡先、来館日時、台数を ご連絡ください。

Tel. 046-875-2800



宮崎進の取材写真、1960年代



宮崎進《冬》1968年、油絵具・カンヴァス、個人蔵



_____ 宮崎進《ラーゲリの壁(コムソモリスク第3分所)》1988年 ミクストメディア・麻布・合板、高知県立美術館蔵



宮崎進《頭部》2004年、木·塗料·鉄、当館蔵



宮崎進《横たわる》2001年、麻布・ミクストメディア・石膏・木、作家蔵



宮崎進《花咲く大地》2004年、ミクストメディア・麻布・合板、当館蔵

